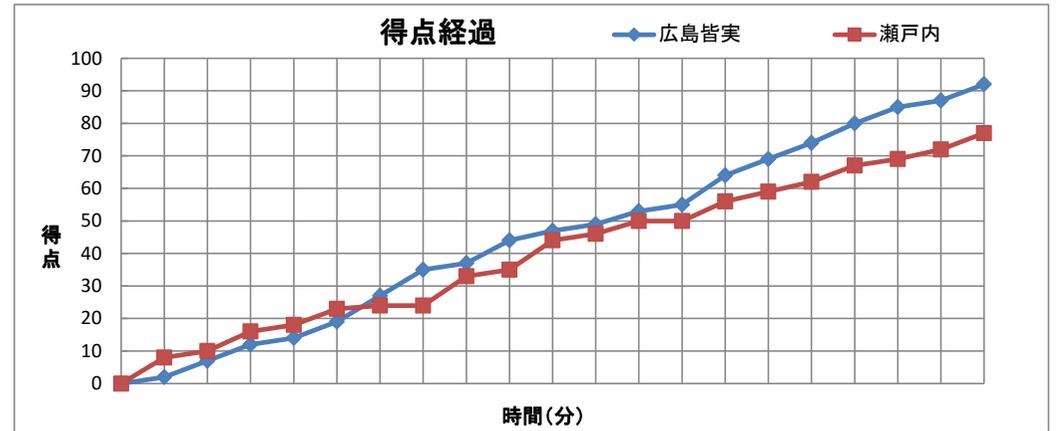


令和5年度広島県高等学校秋季バスケットボール大会  
第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会広島県予選

個人トータル表

男子		平成15年11月5日 11:00 開始											
決勝		エフピコアリーナふくやま P											
◎ 広島皆実 92		77 瀬戸内 (広島県)											
(広島県)		(広島県)											
19 1st 23													
28 2nd 21													
22 3rd 15													
23 4th 18													
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	小田 悠人	21	4	3	3	3	2	若林 快晟	-	-	-	-	-
* 5	広瀬 琉星	7	1	2	0	1	5	佐藤 雅	-	-	-	-	-
6	武田 璃玖	-	-	-	-	-	* 8	末永 渚苒	18	1	6	3	4
7	齊藤 拓真	9	1	3	0	1	* 11	濱田 典也	31	5	8	0	3
* 8	中村 英司	15	0	6	3	1	* 19	坪川 喜晴	6	0	3	0	0
9	宇川 耀友	-	-	-	-	-	20	高松 詩空	-	-	-	-	-
10	渡邊 龍	0	0	0	0	0	21	山中 篤	0	0	0	0	0
* 11	石丸 陽生	17	5	1	0	1	24	内藤 誠斗	-	-	-	-	-
12	平田 貴一	3	1	0	0	1	29	米満 慶哉	-	-	-	-	-
13	松本 朔太郎	-	-	-	-	-	* 30	澤田 大陸	10	3	0	1	2
14	西本 尚史	-	-	-	-	-	31	上村 駿太	-	-	-	-	-
15	松井 颯之輔	-	-	-	-	-	33	三上 善	-	-	-	-	-
* 16	平田 成	20	6	1	0	1	* 34	三次 桜侍	12	4	0	0	1
17	村上 礼	-	-	-	-	-	37	藤川 大夢	0	0	0	0	1
18	竹本 光流	-	-	-	-	-	41	胡濱 隼征	0	0	0	0	2
コーチ	藤井 貴康					0	コーチ	川西 英昭					0
Aコーチ	横田 学						Aコーチ	山崎 翔太郎					
合計		92	18	16	6	9	合計		77	13	17	4	13
主審: 皆川 義紀													
副審: 山住 泰光													
副審: 三島 彩													



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	13:44	17:46	28:03	31:35	36:28	:	:	:	:

1ピリ スタート、広島皆実#4.5.8.11.16 瀬戸内#8.11.19.30.34  
 広島皆実オールコートマンツースト対する瀬戸内は2-3ゾーンディフェンス  
 ジャンプボール後すぐ、広島皆実#11番が抜け出し先取点をとりゲーム開始。すぐさま瀬戸内高校#30の3p、#11の  
 ドライブで迎え撃つ。  
 序盤は両チーム積極的な攻撃から激しい点の取り合いとなる。瀬戸内は早い展開から効果的に3pを決め広島皆実  
 はリバウンドに果敢に飛び込み得点を繋ぐ。  
 広島皆実は2-3ゾーンに苦戦し、なかなか得点が伸びない。対する瀬戸内は着実に得点を重ねリードを保つ。19-  
 23と瀬戸内がリードをして1ピリ終了。  
 2ピリ 開始早々、広島皆実は激しいディフェンスからミスを誘い#11の3p、#5のタップシュートが決まり逆転する。  
 外角のシュートが確率よく決まりはじめた広島皆実がさらに点差を広げる。硬い守りから速攻も決まり35-24と  
 なったところで瀬戸内たまたまタイムアウト。残り時間6分16秒。  
 タイムアウト明け瀬戸内#11の連続3pが決まり流れを渡さない。広島皆実冷静なパス回しから得点を重ねる。残り  
 2分14秒、広島皆実#7がスティールから得点を取り44-35となったところで瀬戸内2回目のタイムアウト。広島皆  
 実に流れがいきかけていたが、瀬戸内#11の個人技からの得点や合わせから#8の得点などで応戦。終了間際#11の  
 3pが決まり47-44と3点差まで追いつき広島皆実リードで前半終了。  
 3ピリ 後半瀬戸内は2-1-2、広島皆実オールコートで激しく守る。広島皆実#4.8瀬戸内#8.11が奮闘し点を取り  
 合う時間が続く。両チーム流れが掴めず膠着状態のまま2分間得点が決まらない。点差を広げたい広島皆実#4の  
 リバウンドや#11の3pで攻撃を組み立ていく。対する瀬戸内は#11のドライブや#8のゴール下で追撃を図る。広島  
 皆実の#4.7の連続3pが決まり64-56になったところで瀬戸内後半1回目のタイムアウト。残り時間1分57秒。タイム  
 アウト後広島皆実のディフェンスの激しさを増し勢いに乗る。瀬戸内はファウルが増え苦しい展開に。両チーム  
 硬い守りから得点が伸び悩む中オフェンスリバウンドに積極的に飛び込み得点を重ねた広島皆実がリードを広げ4  
 ピリに繋げる。  
 4ピリ 最終Qになり広島皆実のディフェンスに激しさがます。瀬戸内#34の3pが決まり流れを掴もうとするも要の  
 #8がファウルトラブルとなり後半2回目のタイムアウトを取る。残り時間8分25秒。追いつきたい瀬戸内はタイム  
 アウト後30の3p、#8のインサイドプレーで追いつける。しかし広島皆実#16が連続で3pを沈め追撃を許さない。瀬  
 戸内は焦りからか思うようにシュートが決まらない。その間広島皆実は中外バランス良く得点しリードを広げる。  
 残り時間3分32秒、85-69となったところで瀬戸内最後のタイムアウトを要求。  
 タイムアウト後瀬戸内はディフェンスをオールコート2-2-1に変え相手のミスを誘う。瀬戸内#11.8の3pが決まる  
 も広島皆実の巧みにゲームコントロールをし差が埋まらず試合終了のブザーが鳴った。最終スコア92-77と最後ま

戦評: 佐々井 雄大

TO

府中高校